

## 日照の検討と日射量の算出（レポートの課題）

### 1．課題

( 1 ) 日本国内の都市の中から自分の好きな都市を 1 ヶ所，また日本以外の世界中の都市の中から自分の好きな都市を 1 ヶ所選び，それぞれの都市における春分の日，夏至の日ならびに冬至の日の太陽高度と太陽方位角を，おおよそ 6 時から 18 時までの間の 1 時間おきに，計算して，水平面日影図を描け。

なおレポートには，選んだ都市の緯度と，選んだ理由を明記すること。ただし，レポート提出者の中で，同じ都市を選んだ者がいれば，選んだ者全員の評価は極めて低いものとするので，選択の際には，十分注意すること。

( 2 ) ( 1 ) で選んだそれぞれの都市における春分の日，夏至の日ならびに冬至の日の太陽高度と太陽方位角を用いて，それぞれの日の水平面全天日射量，南面，東面ならびに西面の壁がそれぞれ受ける日射量の一日の変化（おおよそ 6 時から 18 時までの間の 1 時間おき）をグラフに描け。ただし，大気透過率は，夏至では 0.6，春分の日では 0.65，冬至では 0.75，とする。

( 3 ) 例題で扱った熊本，自分の選んだ 2 ヶ所の都市の

- ・水平面日影図

- ・水平面全天日射量，南面，東面ならびに西面の壁がそれぞれ受ける日射量の一日の変化の図

をそれぞれ比較して考察し，考えられることを述べよ。

( 4 ) 講義・演習を受けての感想，意見，批評などを書いてください。

注) レポート中のグラフや図は，見やすいように各自で工夫すること。レポートの体裁は，A4 判であれば，枚数には特に制限を設けないが，他人が見ても（読んでも）わかりやすいレポートを作成するよう心がけること。なお，最低限，学籍番号と名前は明記すること。また，レポートが 2 枚以上になる場合は，ステーブラーなどで綴じてから提出すること。

### 2．締め切り

6 月 6 日（金）

### 3．提出先

下記の担当者の所まで。必ず，手渡すこと。手渡さないで扉にはるなどした場合は，紛失しても責任はもてない。なお，質問なども下記の担当者まで。また，やむを得ない事情により，レポートの提出が遅れる場合は，理由によっては考慮することもあるので，できる限り早急に下記まで連絡を取ること。

助教授・辻原 万規彦

部屋：環境共生学部旧棟（旧生活科学部棟）4 階西南角

電話：096-383-2929（内線 492）

e-mail：m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp